

# Fukuoka Asian Art Museum Art Exchange Programs Annual Report 2019-2020

令和元年度  
福岡アジア美術館交流事業報告書（『年報』抜粋）



交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。



ハン・スンピル  
(韓国) [美術作家]

1972年生まれ  
ヨンイン(韓国)在住  
滞在期間:5月14日~7月19日、10月6日~16日

□主な活動

①作品制作

福岡県内各所で撮影した滝や苔などの自然の姿や東長寺の大仏や五重塔などを、巨大なパネルにプリントして、東長寺の本堂前面及び側面を覆う大型のインスタレーション作品《深緑の楽園—福岡》を、「博多旧市街まるごとミュージアム2019」(P18参照)で公開した。



《深緑の楽園—福岡》2019年、東長寺

②ワークショップ

●6月3日、4日

「写真一起源から未来まで」カメラの起源であるピンホールカメラによる撮影と現像、照明技法体験、ドローンカメラによるデモンストレーションなどを通して、過去から未来までの写真の発展について学んだ。ピンホールカメラで撮影された写真は、「博多旧市街まるごとミュージアム2019」の期間を含む9月26日~11月26日の間、ラウンジM8にて開催された「あじびレジデンス作家 ワークショップ展」にて展示された。  
参加者:シンガポールCHIJ中学校 12人  
場 所:交流スタジオ、館内各所



ワークショップの様子

●7月6日

「写真の起源—ピンホールカメラを撮影しよう！」ピンホールカメラの撮影と現像を体験し、写真の原理やカメラの仕組みなどを学んだ。写真は、「あじびレジデンス作家 ワークショップ展」にて展示された。  
参加者:福岡市立照葉中学校美術部 16人  
場 所:交流スタジオ、館内各所



ワークショップの様子

●7月8日

「写真で自分だけの山笠を作ろう！」ハン・スンピルが世界中で撮影した写真を用いて、博多祇園山笠の飾り山のコラージュ作品を制作した。制作された作品は、「あじびレジデンス作家 ワークショップ展」にて展示された。  
参加者:福岡市立早良小学校 特別支援学級 2人  
場 所:交流スタジオ



ワークショップの様子

③トーク

●5月25日

「滞在作家によるトーク—これまでの活動と福岡での予定」  
参加者:一般67人  
場 所:アートカフェ



トーク

●10月12日

「博多旧市街まるごとミュージアム2019」アーティストトークリレー  
参加者:55人  
場 所:東長寺



トーク

関連記事

2019.10.11 朝日新聞(夕)「本堂彩る 韓流アート ソウル在住現代芸術家、福岡・東長寺に作品『日韓関係の癒やしになれば』」



レ・ヒエン・ミン  
(ベトナム) [美術作家]

1979年生まれ  
ホーチミン(ベトナム)在住  
滞在期間:8月19日～10月24日

□主な活動

①作品制作

鑑賞者参加型の作品《5つの問い》を制作した。ベトナムの手漉き紙「ゾー」を用いて5体の女性像を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム2019」期間中に妙楽寺に設置した。来場者は「女性とは誰でしょう？」などの「5つの問い」への答えを小さな円形のゾーに書き、女性像のいずれかに貼った。



制作の様子



《5つの問い》2019年、妙楽寺

②ワークショップ

●9月3日

「ベトナムのお面を作ろう！」  
ベトナムの文化や暮らしなどについての話を聞いた後、レ・ヒエン・ミンがベトナムから持参したお面を、使用する場面を想定した上でデザインを描き、着色・装飾した。制作された作品は、「博多旧市街まるごとミュージアム2019」期間を含む9月26日～11月26日にラウンジM8で開催された「あじびレジデンス作家 ワークショップ展」にて展示された。

参加者:福岡市立舞鶴中学校3年生72人  
場 所:あじびホール、交流スタジオ



ワークショップの様子

●10月8日

「ベトナムのお面を作ろう！」

参加者:福岡市立片江小学校 特別支援学級1～6年生 16人  
場 所:交流スタジオ



ワークショップの様子

●10月21日

「ベトナムのお面を作ろう！」

参加者:福岡市立有田小学校3年生 99人  
場 所:あじびホール、交流スタジオ



ワークショップの様子



ワークショップ作品展示

③トーク

●8月24日

「滞在作家によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者:一般60人  
場 所:アートカフェ



トーク

●10月12日

「博多旧市街まるごとミュージアム2019」

アーティストトークリレー

参加者:57人  
場 所:妙楽寺



トーク

④地域交流イベント

●10月19日

「博多リバレイン灯明」(P14参照)

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア



他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究をおこなうことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援した。



**チェオン・キー・チェン**  
(マレーシア) [美術作家]

1981年生まれ  
クアラルンプール(マレーシア)在住  
滞在期間:5月7日～6月6日  
シンガポールのユナイテッド・オーバースーズ銀行の助成で滞在。

□主な活動

①作品制作

博多や杵岐などに今も残る神話の断片を題材にした絵画作品を制作した。また、2012年に水害に見舞われた奥八女を訪れ、地元の人々に話を聞いて絵画の共同制作をおこなった。



制作の様子



八女での滞在制作の様子



《島々との遭遇 I》2019

②トーク

●5月25日  
「滞在作家によるトークーこれまでの活動と福岡での予定」  
参加者:一般64人  
場 所:アートカフェ



トーク

●6月23日  
「チェオン・キー・チェン トーク」  
参加者:一般56人  
場 所:7階アジアギャラリー前



トーク

③作品公開

●6月1日～6月25日  
「生命は、川の流れるように」  
場 所:7階アジアギャラリー前



作品公開の様子

関連記事

2019. 5.30 毎日新聞(朝)「[催し]チェオン・キー・チェン トーク」  
2019. 6. 4 西日本新聞(夕)「レジデンス作家チェオン・キー・チェンによる滞在作品公開」



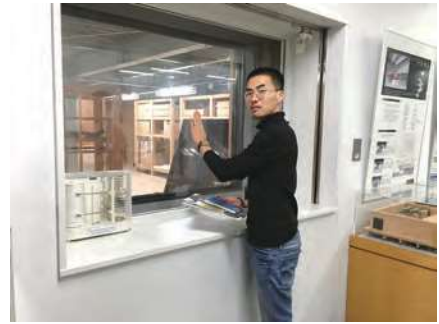
チェン・チャンハオ/陳昌浩  
(中国) [研究者]

1991年生まれ  
アヴィニョン(フランス)在住  
滞在期間:2月12日~3月26日

□主な活動

①調査・研究

保存修復の観点から、当館所蔵作品、小沢剛《醤油画資料館》およびアジア現代美術の調査をおこなった。



調査の様子

## 「博多リバレイン灯明」

(「第25回博多灯明ウォッチング2019」同時開催)

会 期:2019年10月19日(土)18:00~21:00

会 場:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、招聘事業で滞在していたレ・ヒエン・ミン(ベトナム)が参加した。永続性を表す「円」をモチーフに地上絵を描き、数千個の灯明を置いていった。



交流事業の中心である招聘事業および受入支援事業の過去の取り組みを紹介するとともに、進行中のプログラムの様子を多くの人に伝えることを目的として、アジアギャラリーでの展示「あじびレジデンスの部屋」を実施した。

### 第1期

3月28日～6月25日

今年度のレジデンス・アーティストを紹介するとともに、同時期に開催中のコレクション展「新収蔵品展 2016-2019年」にあわせて、過去に招聘事業および受入支援事業で滞在した5人の作品を展示した。

#### 関連記事

2019. 4.10 プラスフクオカ「あじびレジデンスの部屋」

2020. 1. 1 サンデー福岡「〔展〕あじびレジデンスの部屋 第3期」



### 第2期

6月27日～9月4日

昨年度の招聘美術作家のキャンディー・バード(台湾)と、今年度の受入支援美術作家のチェオン・キー・チェン(マレーシア)が滞在中に制作した作品を展示し、また、今年度の招聘美術作家のハン・スニル(韓国)の活動を紹介した。

### 第3期

12月2日～3月17日

10月におこなわれた「博多旧市街まるごとミュージアム 2019」に参加した今年度と昨年度の招聘アーティスト3人の展示を、作品の一部や記録写真、映像によって紹介した。



第3期の展示の様子